

就学時から卒業後までを見通した 特別支援教育について

令和5年度調布市就学に関する説明動画
調布市教育委員会指導室

1

動画視聴にあたって

この動画は、調布市で発達に課題のあるお子様をお持ちの保護者の方々が、就学を考えるにあたり参考となることを、特別支援教育の指導経験者や保護者の方々の声、あるいは卒業後の就労先の声などを参考に作成したものです。

動画「調布市立学校における特別支援教育」と合わせてご覧ください

2

動画視聴にあたって

この動画の無断転載・無断使用はご遠慮ください

3

就学相談・就学先決定の在り方について①

「就学基準に該当する障害のある子どもは特別支援学校に原則就学するという従来の就学先決定の仕組みを改め、障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から就学先を決定する仕組みとすること」(中央教育審議会報告より)

4

就学相談・就学先決定の在り方について②

「市町村教育委員会が、本人・保護者に対し十分情報提供をしつつ、本人・保護者の意見を最大限尊重し、本人・保護者と市町村教育委員会、学校等が教育的ニーズと必要な支援について合意形成を行うことを原則とし、最終的には市町村教育委員会が決定すること」(中央教育審議会報告より)

※就学先決定後も柔軟に転学できる

5

調布市:

「第2期調布市特別支援教育推進計画」より

基本方針3 施策1 主な取り組み から

・早期からの保護者への情報提供

就学相談の流れだけでなく、小学校就学前から就学時や卒業後を見据えた特別支援教育の、具体的な教育及び指導・支援の内容等、早期から就学先を検討するための情報を提供していきます。

6

発達に課題のある子どもたちの人生で 困難が際立つとき

- 1 就学時
- 2 卒業後(進路選択・就職)

7

1 就学に向けて

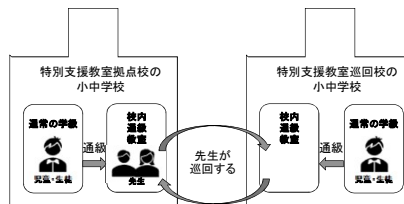
8

調布市の通級による指導

- ・調布市では、東京都でいう特別支援教室を全小中学校に設置し、「校内通級教室」という呼び方をしている
- ・対象は、発達障害とされる者で、通常の学級に在籍し、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒
- ・特別な指導では、特別支援学校学習指導要領の自立活動を参考にし、指導内容を計画・実施している
- ・知的障害は対象ではない
- ・調布市では、第一小学校に、きこえの教室とことばの教室という通級指導学級を設置している

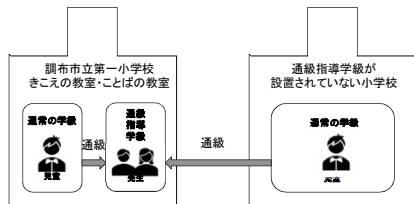
9

調布市の校内通級教室(特別支援教室)



10

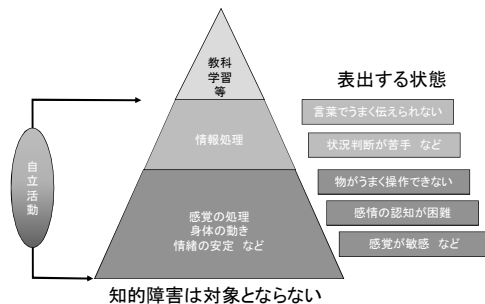
通級指導学級 きこえの教室・ことばの教室



11

校内通級教室の自立活動の指導内容について

(東京都の講習動画を参考に編集)



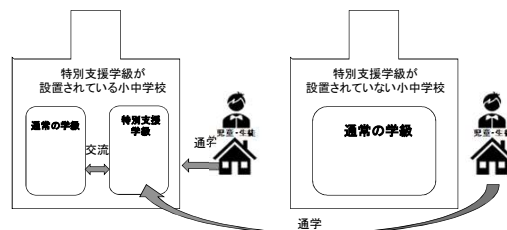
12

調布市の特別支援学級の指導

- ・調布市の特別支援学級は、知的障害の児童・生徒を対象としている

13

特別支援学級



14

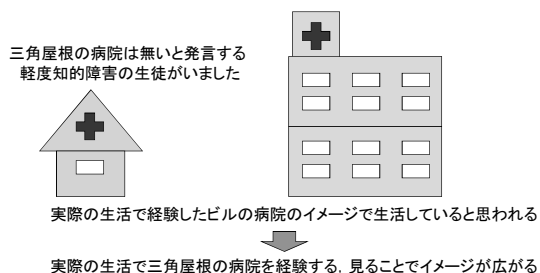
知的障害特別支援学級の教育的対応

学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場面の中で生かすことが難しい(中略)ため、実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習することにより、必要な知識や技能等を身に付けられるようにする継続的、段階的な指導を行っています。

※文科省HPより抜粋

15

知識や技能が断片的になりやすい(事例)



16

特別支援学級の教育課程の考え方 (小学校の場合)

(小学校学習指導要領解説より要約)

小学校の教育課程を基本として

- ①特別支援学校で示す自立活動を入れること
- ②下学年の内容に替えられること
- ③特別支援学校の教育課程を参考にできることとなっている

※③で知的障害特別支援学校の教育課程を参考とした場合は「各教科等を合わせた指導」ができる

17

2 卒業後に向けて

18

(例)就労先からの要望から①
(在学中に身に付けておきたいこと)

- 良好な人間関係
(家族や友達、先生は優しい、楽しい、頼れる経験)
- 感情のコントロール・特性の理解
(方策の学習・自立活動)
- スピードはおそくても、集中してやり遂げる力
(勉強内容よりもやり遂げる経験)
- 自己表現力
(スポーツ、歌、おしゃべり、何でもいい)

19

(例)就労先からの要望から②
(在学中に身に付けておきたいこと)

- 可能な範囲でのことば・かず (使えることば・かずを学ぶ)
- 健康な生活習慣と清潔な身なり
(いつもきれいにしている経験と知識、通院慣れ)
- 安全に配慮できる行動調整 助けを求め力
(小さい頃からの経験、支援者を複数名見つけておく)
- 毎日通える生活習慣 (毎日通える楽しく安心な学校など)
- 自分のことは自分でやろうとする主体性
(親や先生の手を離れていく)

20

身に付けておきたいことは

在学中(18歳まで)に準備しておくことが
一つの目標となる

21

都内における多様な進路選択について

- 都立高校: チャレンジスクール、定時制(単位制)
- 都立高校における通級による指導の開始
- 私立高校: 様々
※内申書を必要としない高校も増えている
- 都立特別支援学校: 肢体不自由、盲、ろう、病弱
知的障害(就業技術科、職能開発科、普通科)
※障害者手帳または医師の診断書が必要

22

発達に課題のある生徒の入試での配慮例

- 都立高校入試
問題用紙・解答用紙の拡大、英語リスニングテストでの
座席の配置、別室受験、検査時間の延長、記号選択式
での受験、ICT機器の使用、介助者の同行など
※中学校での実績を通して学校から申請する
- 大学入学共通テスト
別室、注意事項の文書による配布、拡大文字問題冊子、
試験時間延長など
※医師の診断書などを添えて申請する

23

終わり

調布市 教育相談所
就学相談 042-481-7634

※小・中学校に在籍のお子さんは
在籍校へ相談ください

24